

事業所における自己評価結果						
事業所名		公表日			2025年12月26日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	広さが限られているのでプログラムに応じて机の配置を変えるなどしている		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	より細かく支援して行けるよう職員を追加で配置するようにしている		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	視覚支援に努め、番号をふったり順番をわかりやすく表示したりしている		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日の清掃、机、ホワイトボード等の配置の見直しなど、定期的に行っている	プリント類も個人に合わせた内容に進化させていく	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	クールダウン出来る部屋などを共有している		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	ミーティングでシェアするようにしている		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	ミーティングでシェアするようにしている		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	ミーティングでシェアするようにしている		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	75%	25%	外部コンサルに定期的に全体を評価実施を行い改善点はこまめに改善に努めている		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	必須研修は通年して行い、スキルアップの外部研修にも積極的に参加している		
適切な支	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	毎月のお便りで支援プログラムカレンダーを公表しその通りに支援を行っている		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	モニタリング時に細かくアセスメントを取るようにしている		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	支援会議で評価、案等審議し検討している		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	75%	25%	職員には支援会議を通して共有している	個人に合った支援と共通した支援にしより一層強化していく	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	行動分析できるアセスメントシートを利用している		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	全体を網羅できるように設定している		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	プログラム会議にて決定している		

援 の 提 供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	毎月、色々な活動が出来るよう職員皆で考えている	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	個別と集団、両方で活動できるようバランスよくプログラムを組んでいる	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	プログラム会議や朝礼で当日のプログラムの目当て、職員の動き等確認している	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	その日の終礼で必ず振り返りを行い共有している	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	支援記録で日々の様子を記録し問題がある場合には前後で振り返りが出来るようにしている	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	気になることがあればモニタリングを実施し、見直しが必要な場合には見直しをしている	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	組み合わせて支援をおこなっている	
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	選択肢を持って自己決定出来る機会を設けるようにしている	
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	管理者や児童発達支援管理責任者が参加している	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	整えている	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	学校へのお迎えの際に必ず先生から当日の様子などを聞くようにしている	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	75%	25%	引き継ぎが必要な児童がいる場合には積極的に連絡を取って情報共有する体制を整えている	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	75%	25%	まだ福祉サービスを利用するものはいないが就労B型施設を訪問し、日ごろから情報共有体制の構築に努めている	学校を卒業した児童がまだいない
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	75%	25%	設けている	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	75%	25%	地域のイベントに参加して交流の機会を作るようしている	
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	0%	毎回参加している	
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	引き渡しの時などにお伝えするようにしている	もう少し密に出来るようシステムを作る
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	75%	25%		以前平日に開催した際、参加者が少なかったので土日の開催を検討していきたい
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	丁寧に説明している	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	モニタリング時に細かく話を聞く機会を設けている	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	必ずもらうようにしている	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	いつでもご相談いただける体制を整えている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	保護者交流は難しいが兄弟同士は支援している	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	迅速に対応するように心がけ改善すべき点はすぐに改善するように対応している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月間のお便りやインスタグラムで日々の活動の発信をしている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	75%	25%	十分配慮している	電源は切って退勤する
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	色々な方法でコミュニケーションをとるようしている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%		今後夏祭り等に招待していきたい
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアルは策定しており、定期的に訓練も実施している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	BCPを策定し研修訓練を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	アセスメントを取るときに詳しく聞くようにしている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	必要児童には対応している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	安全には十分配慮して支援している	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	契約時や日々の連絡、月刊誌で周知するよう努めている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	75%	25%	終礼の振り返りや支援会議で共有、改善検討をしている	小さなことは共有されていないこともあるので些細なことでもヒヤリときつくよう意識する
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	研修や日々事例検討等を行っている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	必要児童には対応している	